

令和7年度 愛媛から「体験の風をおこそう」運動推進事業 親子でアウトドア カヌー編

1 ねらい

体験活動を通して、自然の素晴らしさ・体験活動の楽しさを実感する。
親子のふれあいや参加者相互のふれあいを通して、豊かな心を育む。「体験の風をおこそう」運動・「早寝早起き朝ごはん」国民運動を推進する。

2 実施日

ツーリング版 9月13日（土）～14日（日）〔1泊2日〕

平水版① 9月28日（日）〔午前・午後〕

平水版② 10月4日（土）〔午後・午後〕



3 日程

ツーリング版（1泊2日）				平水版（日帰り）		
9月13日（土）		9月14日（日）		9月28日（日）・10月4日（土）		
時間	内容	時間	内容	午前の部	午後の部	内 容
13:15	受付開始	6:30	起床	8:40	13:10	受付開始
13:45	開講式・説明・準備	7:00	つどい・朝食・退所点検	9:00	13:30	開講式・説明
15:00	カヌー体験（平水版）	8:30	移動	9:30	14:00	移動
17:30	入浴・夕食・自由時間	8:45	ツーリング	9:50	14:20	カヌー体験（平水版）
19:30	天体観察	10:45	片付け・移動	12:00	16:30	閉講式
20:30	就寝準備・自由時間	11:30	閉講式	12:15	16:45	移動
21:30	就寝	12:00	更衣・解散	12:30	17:00	解散

4 活動場所

国立大洲青少年交流の家 大洲市肱川

5 参加対象・募集人数

小学3～6年生とその保護者（親子等）

ツーリング版 25組（50人程度） 平水版各回 30組（60人程度）

6 参加者数

9月13日～14日 ツーリング版	9月28日（日）平水版①	10月4日（土）平水版②
参加数：31組 67人	参加数：55組 126人	参加数：33組 73人
申込数：51組 110人	申込数：66組 154人	申込数：39組 89人

7 活動内容と参加者の様子を含む

【ツーリング版】

親子が互いに協力し合い、自然の中で課題に挑戦する姿が多く見られた。特に、カヌーツーリングでは親子で声をかけ合いながらゴールを目指す様子が印象的であった。また、活動の中で他の参加者と協力したり、声をかけ合ったりする場面も多く見られ、参加者同士の自然な交流が生まれていた。夜の天体観察では、天候の影響で実際の星空を見ることはできなかったが、講師による分かりやすく興味深い解説に、子供も大人も熱心に耳を傾け、充実した時間を過ごすことができた。

【平水版】

親子や参加者同士で協力し合い、和やかな雰囲気での活動が進められた。カヌーが苦手な参加者も周囲の励ましを受けながらミニツーリングをやり遂げ、全員が無事にゴールすることができた。カヌーの楽しさを感じるとともに、親子が力を合わせ、自然の素晴らしさを感じる良い機会となった。



【全体を通して】

本事業の運営にあたっては、全体の進行やスケジュール管理を当施設職員が担いながら、大洲市カヌー協会に陸上及び水上での看視体制、並びに技術指導を行っていただく等の協力を得て、安全管理に万全を期して実施した。また、開講式では、カヌー体験の開始にあたって、子供達の健全育成における自然体験活動の重要性について参加者へ説明を行った。



8 参加者の声

事業後アンケート結果

【ツーリング版】（家族：29 組回答）

*満足：95.0% *やや満足：5.0% *やや不満：0.0% *不満：0.0%

○活動を通して子供は家族や他の参加者と共通の目的を持って過ごすことができました。

○スタッフの方の対応も非常によく、楽しく参加させてもらいました。

【平水版①】（家族：47 組回答）

*満足：93.6% *やや満足：3.4% *やや不満：3.0% *不満：0.0%

○親子でいい思い出ができた。来年はツーリングに親子でチャレンジしてみたいです。

○うまく漕げない子にパドルの使い方を丁寧に教えていただきました。勇気づけたり褒めたりと、優しく声をかけていただきました。

【平水版②】（家族：30 組回答）

*満足：93.4% *やや満足：3.3% *やや不満：3.3% *不満：0.0%

○カヌー体験から片付けまで子供達が成長する機会を作っていただき、うれしかったです。

○貴重な体験をありがとうございました。普段は父子でアウトドアをする経験がなかったので、今回とても絆が深まった気がします。

9 事業の成果と課題

本事業は、親子での自然体験活動を通じて、親子の絆を深めるとともに、自然の中で協力し合いながら交流を育む貴重な機会となった。参加者からは、「子育てや子供への想いを再認識する良い機会になった」「親子で達成感を得ることができた」といった声が寄せられ、本事業が大変有意義なものであったことが伺える。

また、昨年度の反省を踏まえ、熱中症リスクの軽減を目的として開催時期を9月・10月に変更した結果、体調を崩す参加者は前年度よりも少なく、一定の成果が得られた。さらに、親子での宿泊を伴う教育事業の実施は、新型コロナウイルス流行以降初の開催となり、多くの家庭にとって久しぶりの宿泊体験の場となった。

一方で、久々の開催であったことから、運営や準備の面でいくつかの課題も明らかとなった。これらの成果と課題を踏まえ、今後はより一層内容を充実させ、安心・安全で魅力ある教育事業として発展させていけるよう、改善と工夫を重ねていきたい。

（担当：主任企画指導専門職 岡本 和也）